

TNTgis 2022

インストールガイド



For **Windows**®

www.opengis.co.jp

本書は、Microsoft Windows 10 がインストールされた PC に TNT 製品をインストールする手順を説明しています。詳細については MicroImages 社サイトのインストールガイド (<https://www.microimages.com/documentation/Tutorials/install.pdf>) をご参照下さい。不明な点については、弊社（TEL: 03-3623-2851）までお問い合わせ下さい。

※本インストールガイドは、64bit 版 Windows 10 を使用して作成しています。

2022. 1.21 初版

CONTENTS

①インストールの前に ...	2
1-1. TNTgis の動作環境	2
1-2. TNTmips Free/Basic/Pro の違い	2
1-3. ライセンスについて	3
1-4. 既存のライセンスをバージョンアップする場合	4
② TNTmips のインストール	5
2-1. ダウンロードする場合	5
2-2. インストール DVD を使う場合	7
③ キードライバのインストールとキーの接続	8
3-1. キードライバのインストール	8
3-2. キーの接続	10
④ TNTmips の起動と終了	10
⑤ 言語の設定	12
5-1. 表示言語の設定	12
5-2. フォントの設定	13
⑥ その他のインストールファイルについて	15
6-1. アップデートの適用	15
6-2. Datum 変換パラメタファイル	16
⑦ アンインストール	17
7-1. キードライバのアンインストール	17
7-2. TNTgis のアンインストール	18
7-3. 設定ファイルの削除	19
よくある質問	21

① インストールの前に ...

- ❗ インストールを行う際は Administrator（管理者権限）でログインして作業を行ってください。
- ❗ お使いの OS が最新の状態であるか確認してください。最新でない場合は、Windows Update で更新してください。

1-1. TNTgis の動作環境

TNTgis は米国 MicroImages（マイクロイメージ）社で開発された一連の地理情報システムソフトウェアです。TNTmips、TNTedit、TNTview、TNTatlas、TNTscript が含まれ、中核となるのが統合地理情報システムである TNTmips です。これらのソフトウェアは 1 つのライセンスで利用できます。

TNTgis 2022 は Windows 10 / 11（32bit、64bit）で動作します。

以下に最低限必要なスペックと推奨スペックを記載します。より高性能な PC を使うと、処理速度の向上が期待できます。

プロセッサ	: Intel Pentium4 以上、または 100%互換 PC を推奨
メモリ	: 最低 1GB、4GB 以上を推奨
ハードディスク	: 2GB 以上推奨
ディスプレイ	: Super VGA 1024 × 768 × 32 ビット以上推奨
USB スロット（ライセンスキー用）	
DVD ドライブまたはインターネット接続環境（インストール時に使用）	

1-2. TNTmips Free/Basic/Pro の違い

TNTmips にはフル機能版の Pro、機能が限定された廉価版の Basic、入門用無料版の Free があります。ソフトウェア自体は同一です。

1) TNTmips Free

TNTmips Free は、TNTmips の無料ソフトウェアです。ライセンスは必要ありません。

処理できるデータサイズに制限がありますが、タイルセット機能と SML 機能を除いた解析機能をお使いいただけます。これから GIS を学ぼうとしている方に最適な GIS ツールです。

TNTmips Free で扱えるデータサイズは...

ラスタ ... **トータルで1,000,000ピクセルまで。**

「ライン数 × カラム数」で言えば、1024 × 975、1,952 × 512などのサイズのラスタが扱えます。

ベクタ	・・・	1500点、1500ライン、500ポリゴン、1500ラベルまで
CAD	・・・	500要素、5ブロックまで
シェイプ	・・・	500要素まで
Lidar	・・・	500,000ポイントまで
データベース	・・・	1テーブルにつき1500レコードまで

2) TNTmips Basic

TNTmips Basic は TNTmips の低価格ソフトウェアです。処理できるデータサイズに制限がありますが、TNTmips Free よりも大きなサイズのデータを扱うことができます。

TNTmips Basic で扱えるデータサイズは...

ラスタ	・・・	トータルで4,000,000ピクセルまで。 「ライン数 × カラム数」で言えば、614 × 6,514、1,024 × 3,906、 1,280 × 3,125などのサイズのラスタが扱えます。
ベクタ	・・・	3,000点、3,000ライン、1,000ポリゴン、3,000ラベルまで
CAD	・・・	1,000要素、5ブロックまで
シェイプ	・・・	1,000要素まで
Lidar	・・・	2,000,000ポイントまで
データベース	・・・	1テーブルにつき3,000レコードまで

1-3. ライセンスについて

TNTgis の Pro および Basic を利用される場合は、ライセンスの購入が必要です。以下のライセンス形態があります。

1) シングルライセンス（ポータブルライセンス）

ライセンスキー（USB キー）を挿入した PC でのみ、TNTmips Pro / Basic を使うことができます。

2) インターネットライセンス（E-ライセンス）

ライセンスシリアル番号を設定した PC でのみ、TNTmips Pro を使うことができます。常時インターネット接続が必要です。TNT2015 以降に対応しています。TNT ソフトウェアは複数の PC にインストールして使用可能ですが、同時使用は1台の PC に限られます。

3) フローティングライセンス（ネットワークライセンス）

ネットワーク内のライセンス数を一括に管理するライセンスです。ネットワーク内の PC にライセンスキー（USB HASP Net キー）を挿入すると、そのネットワーク内のライセンスを自動的に管理し始めます。ライセンス管理システムを起動するための設定は特にありません。

HASP Net キーについての説明はマイクロイメージ社のインストール / セットアップガイドにも記載されています。翻訳したガイドを弊社サイトにて公開しています。

マイクロイメージ社 インストール / セットアップガイド : https://www.opengis.co.jp/getstartj/install_J.pdf

1-4. 既存のライセンスをバージョンアップする場合

● v2022 へのバージョンアップの場合

ご注文の後、マイクロイメージ社からバージョンアップコードが提供されます。弊社からメールまたは FAX でご連絡します。

ライセンスキー番号 # ○○○○○のバージョンアップデートコードが参りましたので、ご連絡します。

キー番号 # ○○○○○ 用 **TNT2022** バージョンアップコード：

1111 AAAA 2222 BBBB

16 桁の 16 進数です。入力時、スペースはなくても構いません。

バージョンアップコードは、インストール時に使用します。

❗️すでに TNTgis 2022 をダウンロードしてお使いであれば、30 日間の試用期間が切れるまで、そのまま継続してお使いください。期間が切れた時点でコードの入力を促されます。

❗️バージョンアップコードをお知らせした日付以降に公開された TNTgis 2022 をダウンロードして使う場合、バージョンアップの情報が登録されていますので、コード入力の必要はなくなります。

バージョンアップの場合は、TNTgis の入った DVD は送付されません。「2- 1. ダウンロードする場合」(p.5) を参考にバージョンアップ用のソフトウェアをダウンロードしインストールしてください。

TNTgis のインストール用 DVD が必要であれば、お手数ですが弊社へご連絡ください。

●次期バージョンの予約購入の場合

正式リリース後の TNTmips にバージョンアップの情報が組み込まれています。そのため、バージョンアップコード提供はされません。TNTgis 2022 をインストールすればすぐにお使い頂ける状態になっています。

② TNTmips のインストール

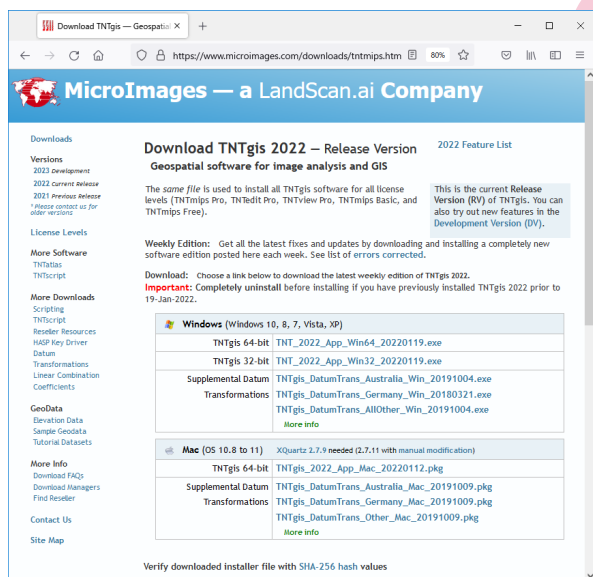
TNTmips は機能別に Pro/Basic/Free の 3 種類がありますが、ソフトウェア自体は 1 つです。

TNTmips をインストールするには、「マイクロイメージ社のサイトから TNTgis をダウンロードし、それをインストールする方法」と「インストール DVD からインストールする方法」(p.7) があります。

ダウンロードの場合はマイクロイメージ社のサイトから TNTgis をダウンロードしますので TNTmips を入手するのに少し手間がかかりますが、バグやエラーを修正した最新版の TNTmips を入手することができます。

以降は Windows 10 でのインストール手順です。

2-1. ダウンロードする場合

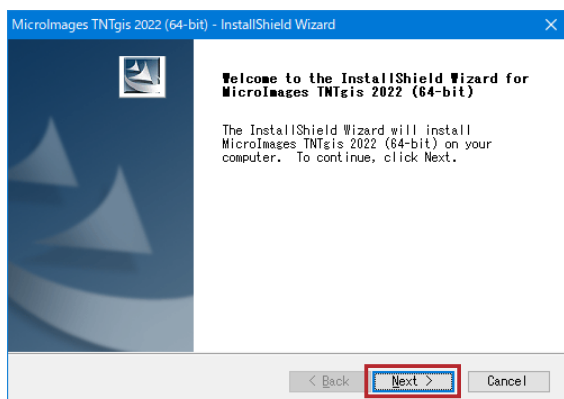
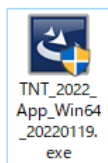


マイクロイメージ社のダウンロードページより、お使いの OS にあった TNTgis をダウンロードしてください。

マイクロイメージ社 TNTgis ダウンロードサイト :

<https://www.microimages.com/downloads/tntmips.htm>

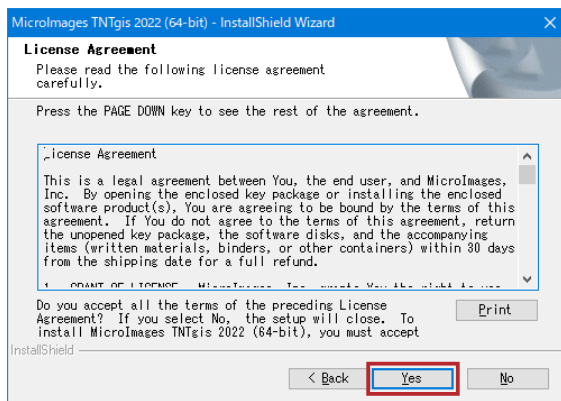
ダウンロードした“exe ファイル”を実行すると、InstallShield Wizard が起動します。



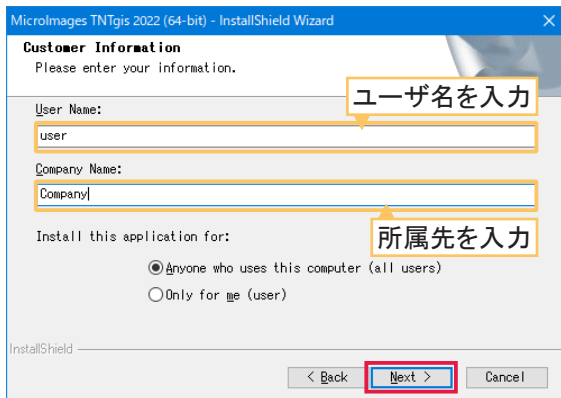
❗ 「Windows によって PC が保護されました」というウィンドウが出た場合は、[詳細情報]のリンクから[実行]を選択して次へ進みます。

“ユーザーアカウント制御”機能が有効に設定されている場合には、「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」という画面が出ますが[はい]を選択して次へ進みます。

InstallShield Wizard が起動します。[Next] ボタンを押します。

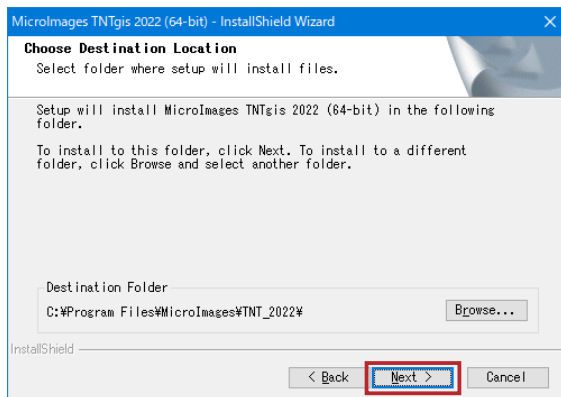


License Agreement が現れます。記載内容を確認したら [Yes] ボタンを押し、次に進みます。



ユーザ情報を入力します。上段にはユーザ名を、下段には所属先を入力して下さい。

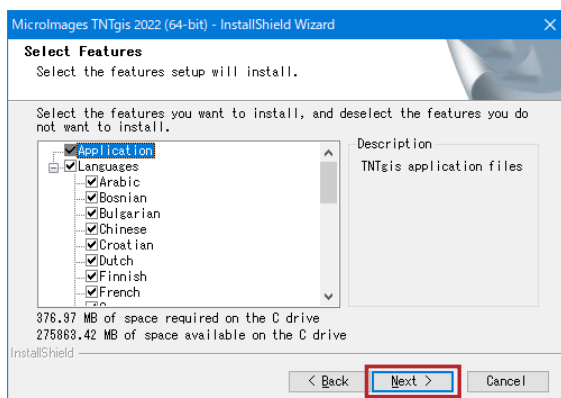
入力が終わりましたら、[Next] ボタンを押します。



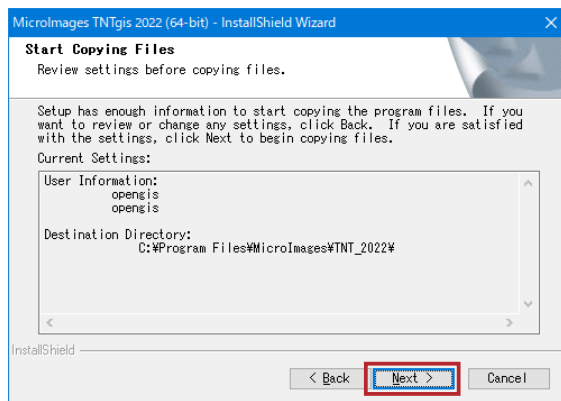
インストール先を指定します。

デフォルトのままであればそのまま [Next] ボタンを、変更したい場合は [Browse...] ボタンを押してインストール先のフォルダを指定してください。

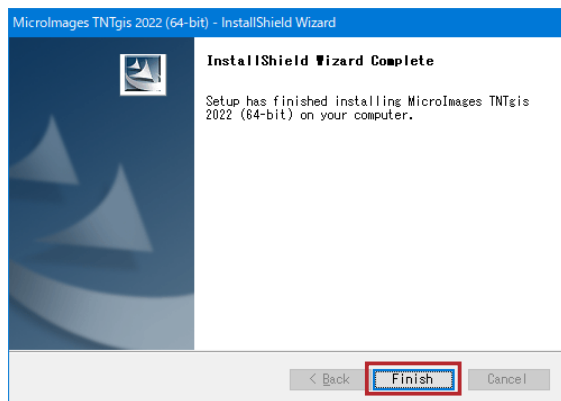
インストールする言語を指定します。このまま [Next] ボタンを押します。



ユーザ情報とインストール先の確認ウィンドウが現れます。確認後、[Next] ボタンを押すとインストールが始まります。

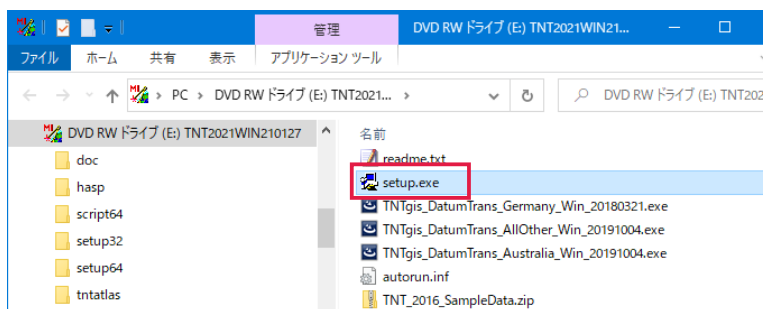


インストールが終わりましたら、[Finish] ボタンを押し、InstallShield Wizard を閉じます。

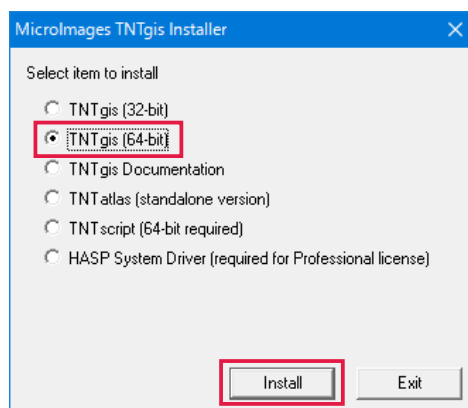


次は、「④ TNTmips の起動と終了」(p.10) へお進みください。

2-2. インストール DVD を使う場合



DVD をドライブにセットします。
インストーラが自動的に起動しない場合はエクスプローラーから DVD ドライブを開き、setup.exe を実行します。



DVD に入っている TNTgis プロダクトの一覧が表示されます。お使いの OS に合った TNT 製品を選択してください。ここでは TNTgis (64-bit) を選択しています。

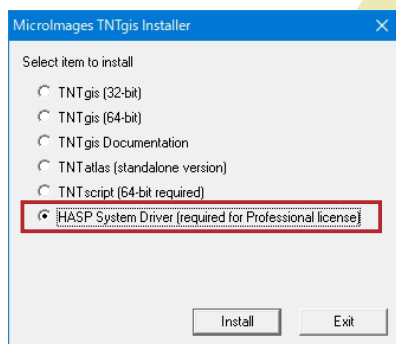
[install] ボタンで InstallShield Wizard が立ち上がり、以降「2-1. ダウンロードする場合」(p.5) と同様の手順です。

③ キードライバのインストールとキーの接続

3-1. キードライバのインストール

Basic 版ポータブルと Professional 版ポータブルとフローティングの TNT 製品には USB ライセンスキーが必要です。ここではフローティングライセンス用 PC にライセンスキーのドライバのみのインストールを行う手順を説明します。

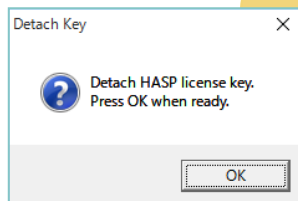
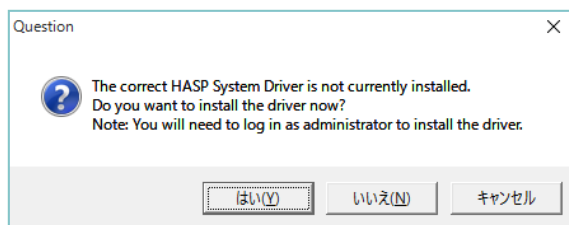
- ❗ ドライバのインストールを終えるまで、まだ USB キーは差し込まないでください。
- ❗ 前章「② TNTmips のインストール」を行った場合、この手順は不要です。「④ TNTmips の起動と終了」(p.10) へお進み下さい。



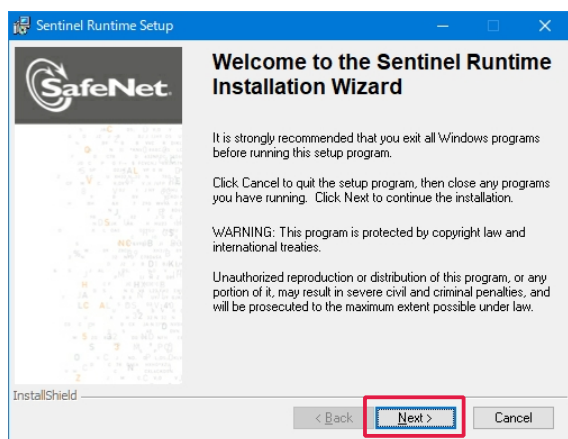
TNTgis のインストール DVD のインストールメニューより「HASP System Driver」を選択して、[Install] を押します。

ダウンロードの場合は、

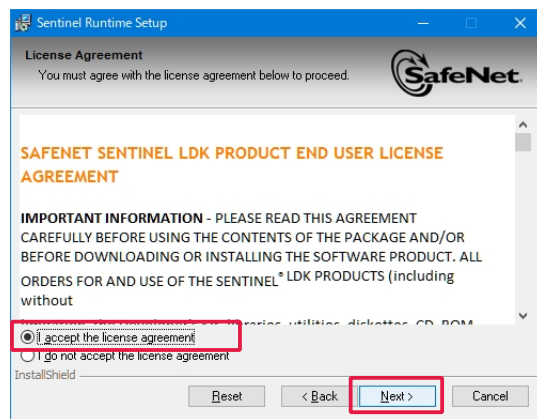
<https://www.microimages.com/downloads/haspDriver.htm>より、Sentinel_LDK_Run-time_cmd_line.zip をダウンロードして、haspdinst.exe を実行してください。



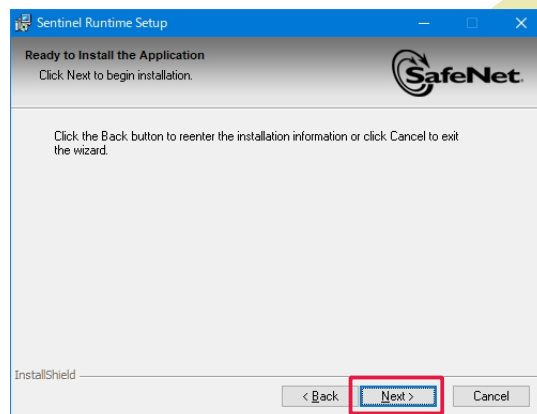
- ❗ キーのドライバがインストールされていない状態で TNTmips を起動すると左のメッセージが出ます。この場合も [OK] をクリックして、以降の手順でドライバをインストールしてください。



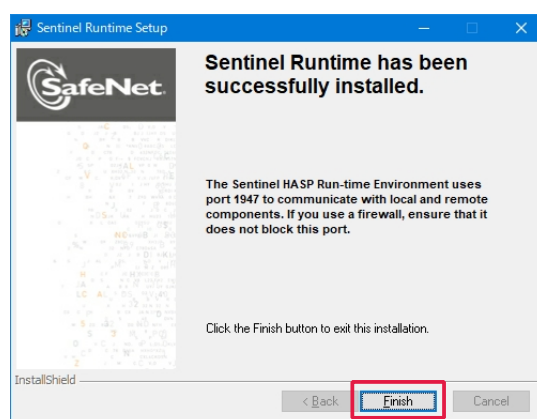
Sentinel Runtime Installation ウィザードが表示します。
[Next] ボタンを押します。



License Agreementが現れます。[I accept ...]をチェックし、[Next] ボタンを押し次に進みます。



[Next] ボタンを押し次に進みます。

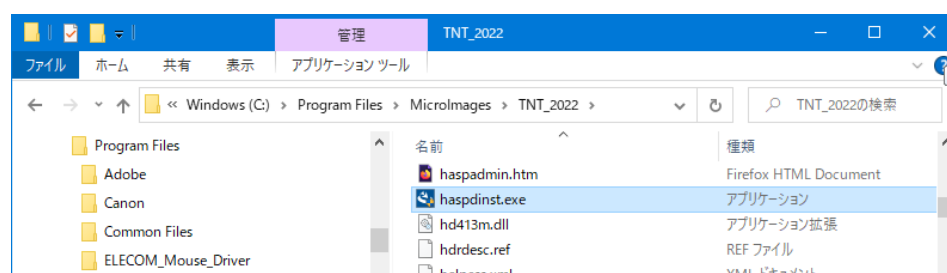


ドライバが正常にインストールされると左の画面が表示されます。[Finish] ボタンを押しウィンドウを閉じます。

❗ インストールされている HASP キードライバのバージョンを確認するには、ブラウザで <http://localhost:1947/int/diag.html> を参照してください。

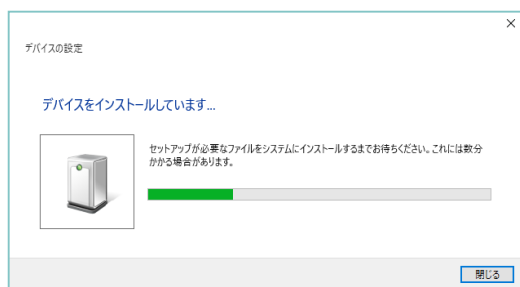
参考：キードライバのインストーラは次の方法でも起動できます。

エクスプローラーから、C:\Program Files\MicroImages\TNT_2022 フォルダにある haspdinst.exe を実行します。



❗ キードライバをアンインストールする手順は、「7-1. キードライバのアンインストール」(p.17)をご覧ください。(ドライバの再インストール時等)

3-2. キーの接続



PC にライセンスキーを挿入します。
自動的にキードライバのインストールが始まります。

メッセージが消えるとインストール完了です。
キーの LED が光っていれば正常です。

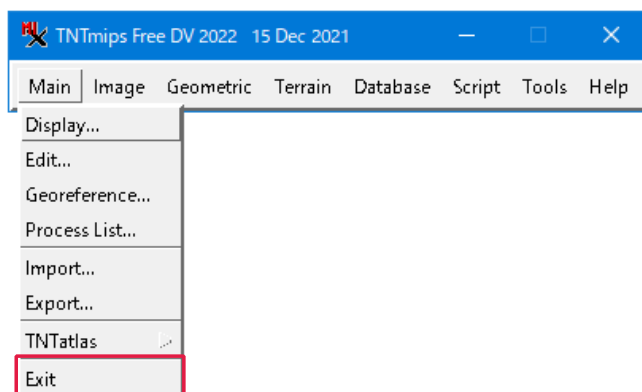
④ TNTmips の起動と終了



TNTmips Pro / Basic を使用する場合は、
TNTmips をインストールした PC へのライセンスキーを接続します。
キーの LED が光っていれば正常です。
TNTmips Free の場合、キーは不要です。



スタートメニューより [MicroImages] > [TNTmips2022] を
選択します。



TNTmips のメインウィンドウが現れます。

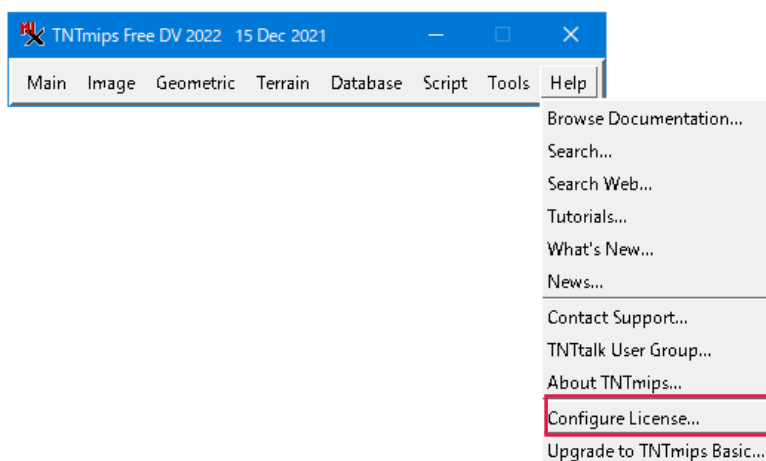
このウィンドウを〈メインメニュー〉と呼びます。

TNTmips を終了するには、メインメニューの [Main] から [Exit] を選択します。

シングルユーザライセンスキーが挿入されている場合は、シングルユーザライセンスとして起動します。シングルユーザライセンスキーが挿入されておらず、ネットワーク内にフローティングライセンスが挿入されているPCがある場合は、フローティングライセンスのクライアントとして起動します。

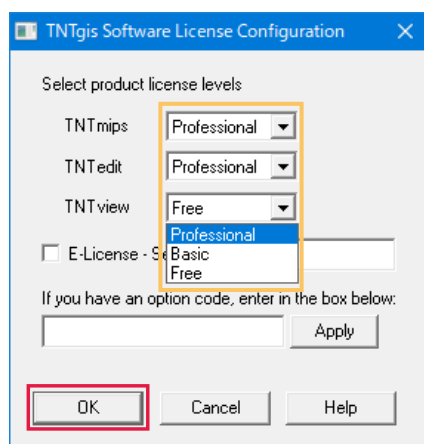
●初回起動時の設定

その PC に TNTgis を初めてインストールして使用する場合、最初に設定を行います。



TNTmisp を起動し、メインメニューより [ヘルプ] > [Configuration License (ライセンスを設定する)] を選択します。

もしくは、スタートメニューから、[MicroImages] > [License Configuration 2022] を選択します。



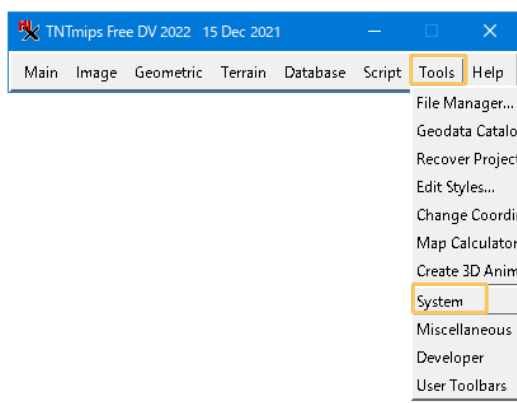
〈TNTgis Software License Configuration〉ウィンドウが現れます。起動する全ての製品の隣にあるリストで使用する TNTgis の種類 Free/Basic/Professional を選択します。選択したら [OK] ボタンを押します。

当初 Free 版を使用していて後から Basic や Pro に切り替える場合もここから設定変更をして下さい。

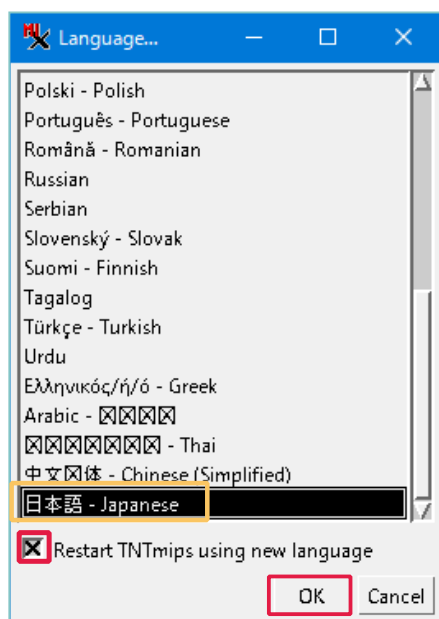
5 言語の設定

5-1. 表示言語の設定

TNTmips を起動すると英語インターフェイスで表示されます。ここでは英語インターフェイスを日本語インターフェイスに変更する方法をご紹介します。

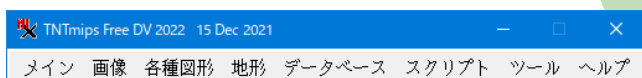


メインメニューより、[Tools] > [System] > [Language...] を選択します。



〈Language...〉ウィンドウで [Japanese] を選択します。
「Restart TNTmips using new language」にチェックをして
[OK] をクリックします。

TNTmips が再起動し、日本語メニューで表示されます。

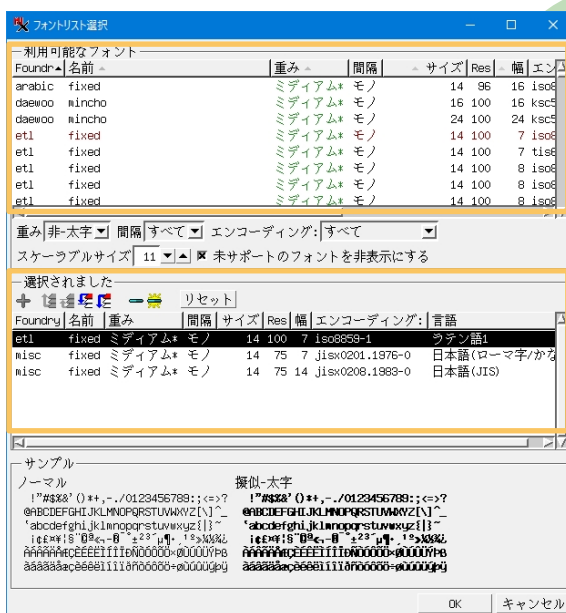


5-2. フォントの設定

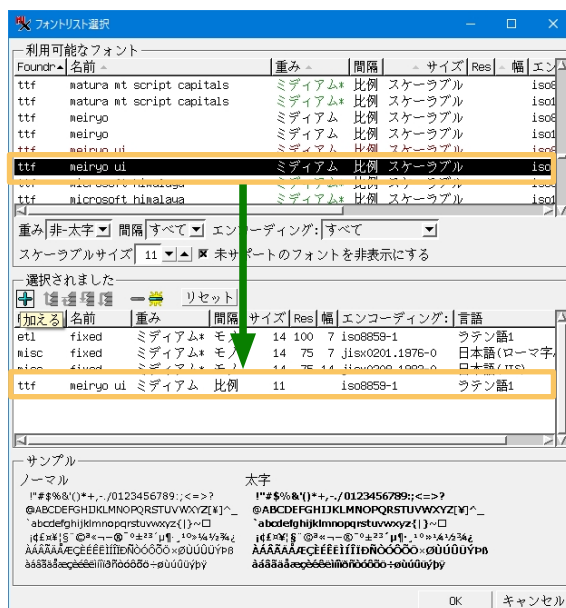
UI のフォントを変えることができます。



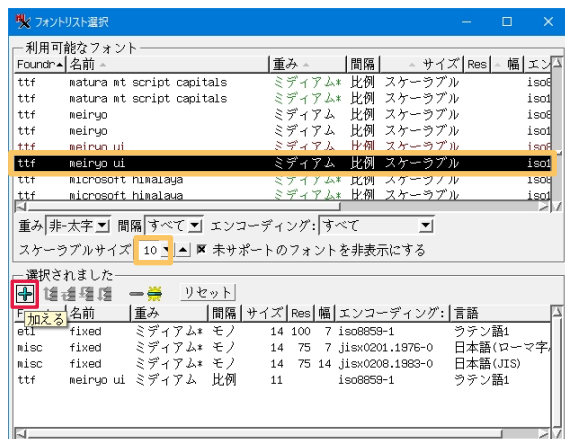
メインメニューより[ツール]>[システム]>[フォント ...]を選択します。



〈Font List Selection〉ウィンドウが現れます。このウィンドウ上段にある「利用可能なフォント」は利用できるフォントの一覧で、中段にある「選択されました」は実際に使用しているフォントの一覧です。

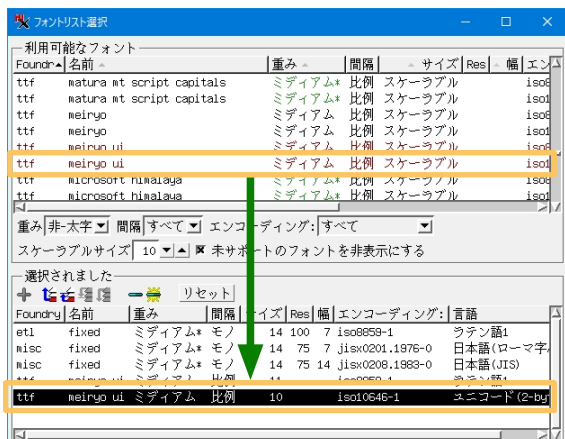


size 列に数字が書いてあるフォントは、「ビットマップフォント」です。「利用可能なフォント」欄からビットマップフォントを選択し、[加える] ボタンを押すと、選択したフォントが「選択されました」欄に移動します。

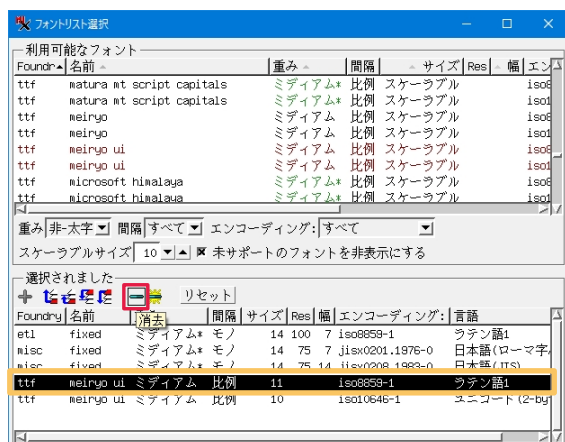


また、size 列に “scalable” と表示されているフォントは “スケーラブルフォント” です。スケーラブルフォントを使用する場合、フォントサイズを指定する必要があります。

「利用可能なフォント」欄からフォントを選択し、Scalable Size 欄でフォントサイズを変更後、[加える] ボタン (+) を押します。

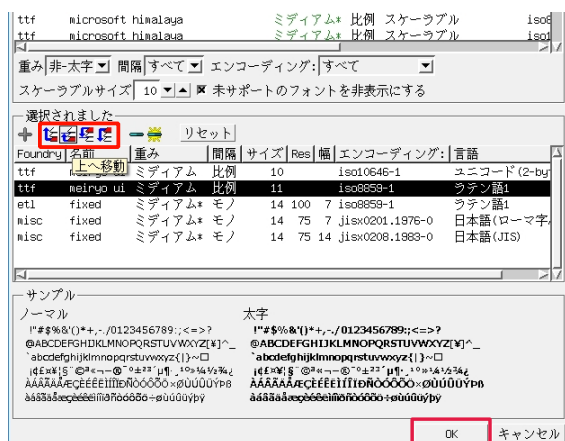


選択したフォントが「選択されました」欄に移動します。また、選択されたフォントは「利用可能なフォント」欄で赤文字で表示されています。



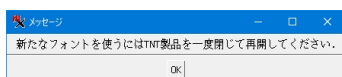
「選択されました」欄からフォントを削除するには、「利用可能なフォント」欄からフォントを選択して、[消去] ボタン (-) を押します。

「選択されました」欄で上にあるフォントほど優先的に使われます。ただし、ビットマップフォントとスケーラブルフォントと一緒にセットしている場合は、スケーラブルフォントが優先的に使われます。



[選択されました] 欄内のフォントの並びは、[選択されました] 欄にある [一番上に移動]、[上へ移動]、[下へ移動]、[一番下に移動] アイコンを使って変更します。

[OK] ボタンでウィンドウを閉じます。

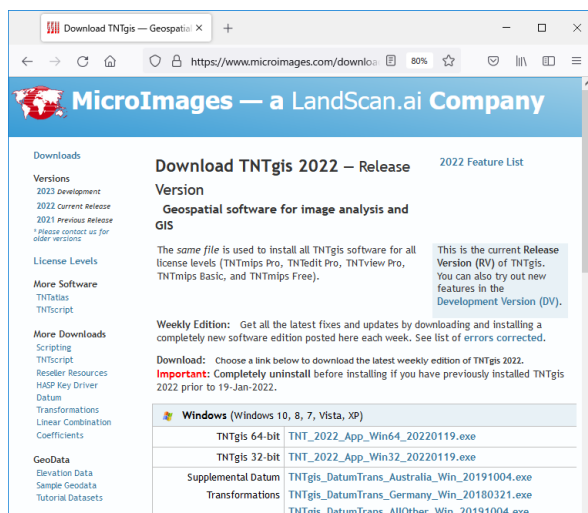


TNTmips を再起動すると、フォント設定が有効になります。

⑥ その他のインストールファイルについて

6-1. アップデートの適用

TNTgis の不具合修正や機能改良のために、毎週アップデート（ソフトウェアの更新）が行われています。毎週アップデートする必要はありませんが、ソフトに不具合がある場合にアップデートを行ってみてください。



マイクロイメージ社 TNTgis ダウンロードサイト

<https://www.microimages.com/downloads/tntmips.htm>

より「2-1. ダウンロードする場合」(p.5)を参考にして、ご使用中の OS にあった TNTgis をダウンロードしてインストールします。

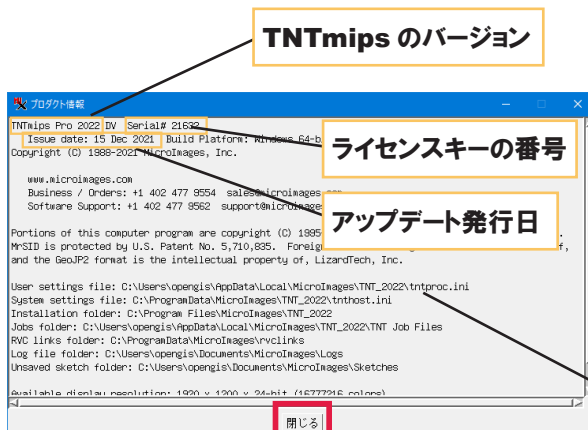
❗ ダウンロードした更新ソフトをインストールする前に使用中の TNTgis をアンインストールしてください。

● 現在使用している TNTmips の更新日確認

インストールした TNTmips に関する情報を表示します。



〈メインメニュー〉から [ヘルプ] > [この TNTmips について...] を選択します。



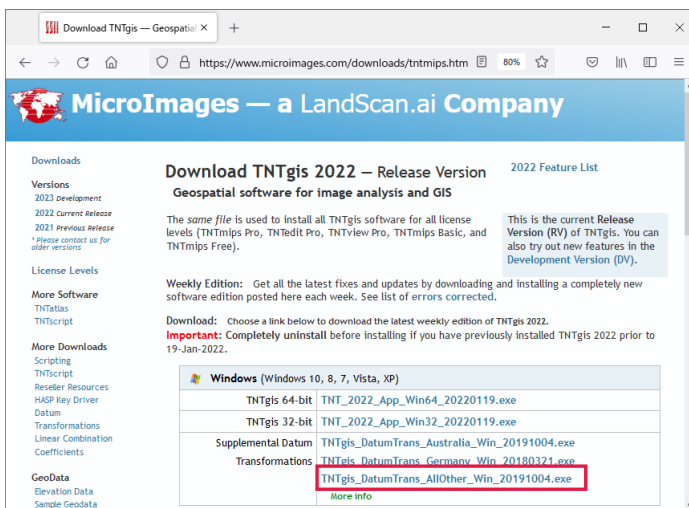
〈プロダクト情報〉ウィンドウが現れます。このウィンドウにはお使いの TNTmips についての様々な情報が記載されています。

6-2. Datum 変換パラメタファイル

TNTgis V2018 から、Datum 変換のパラメタファイルは、必要に応じてユーザが別途インストールする方式に変更されました。(V2017 まではプログラム本体のファイルに含まれていました)

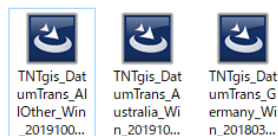
V2018 にしてからオブジェクトが正しく重なって表示されない場合は、Datum Transformations をインストールすると解決します。現在問題が出ていないユーザもインストールしておくことをお勧めします。

1. インストール

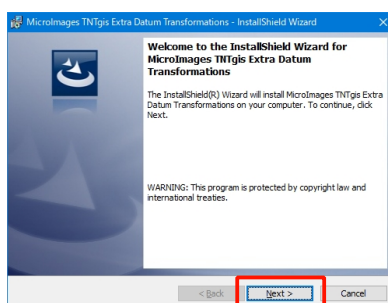


MicroImages 社のダウンロードサイト <https://www.microimages.com/downloads/tntmips.htm> から

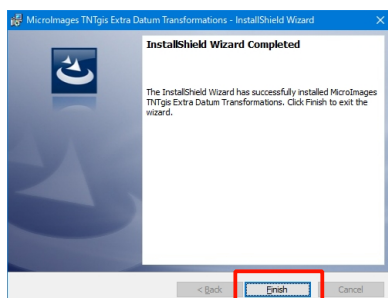
日本用は TNTgis_DatumTrans_AllOther_Win_20191004.exe(更新の都度ファイル名は変わります)をダウンロードしてインストールします。



DVD からインストールする場合は、DVD 内にある同ファイルを実行してください。



インストールウィザードに従ってインストールしてください。



インストール完了です。

TNTgis から参照する .gsb ファイルおよび .ref ファイルは、デフォルトでは下記フォルダにあります。

C:\ProgramData\MicroImages\DatumTrans

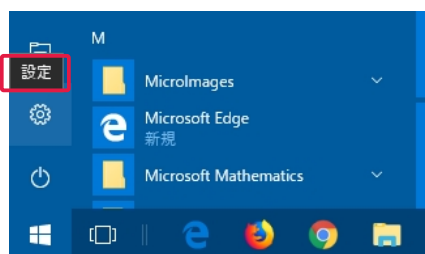
7 アンインストール

ここでは TNTgis をシステムから完全に削除する方法について説明します。クリーンインストールを行う場合やキーのドライバの更新を行う場合の手順となります。

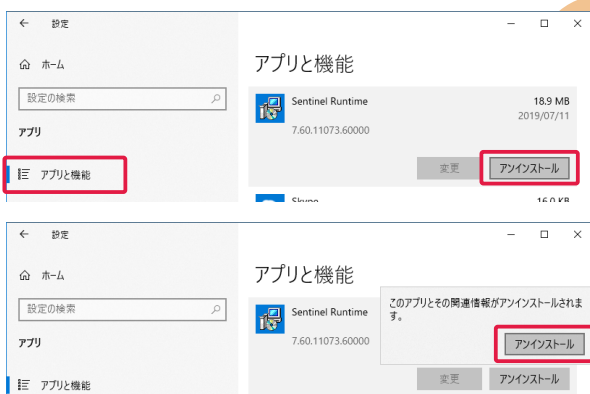
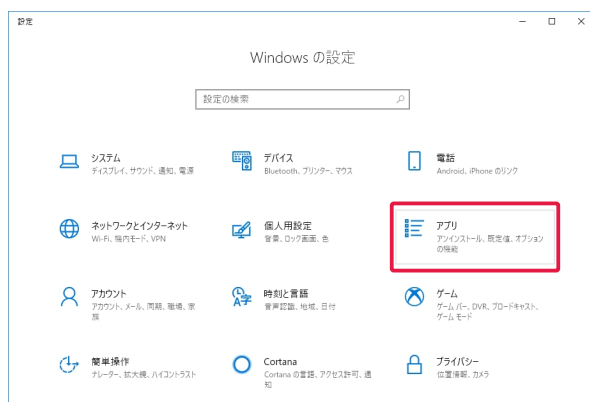
通常のアップデートの場合は、「7-2 .TNTgis のアンインストール」のみ実行して下さい。

7-1. キードライバのアンインストール

！ キードライバのアンインストールは、ライセンスキーを抜いてから行ってください。



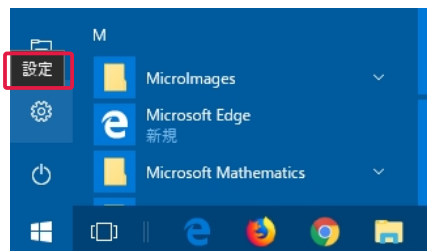
スタートメニューから「設定」を選択し、「アプリ」を選択します。



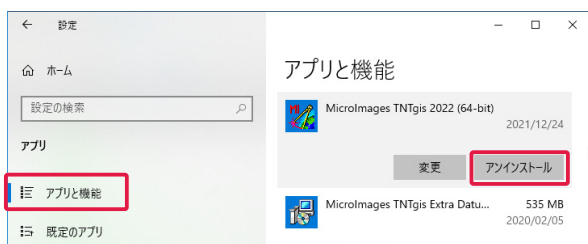
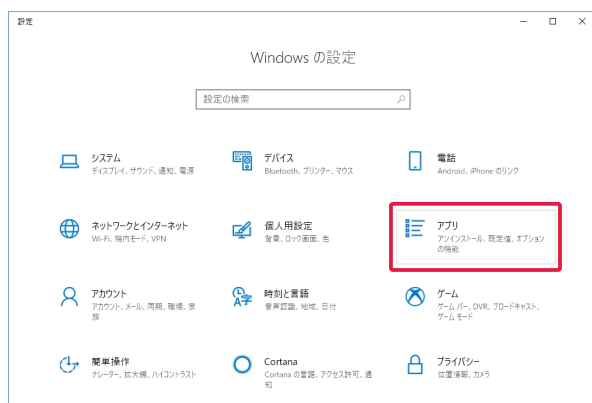
〈システム〉ウィンドウの「アプリと機能」を選択します。「Sentinel Runtime」を選択し、「アンインストール」ボタンをクリックします。USB キーのドライバがアンインストールされます。

7-2. TNTgis のアンインストール

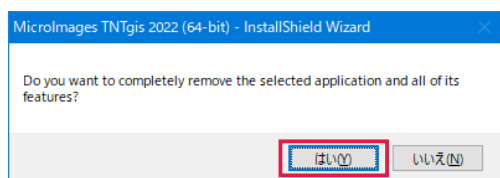
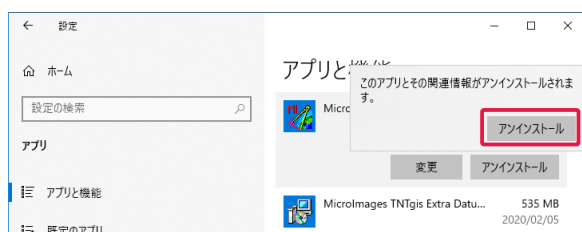
❗ キードライバをアンインストールしない時は、キーが接続されたままでかまいません。



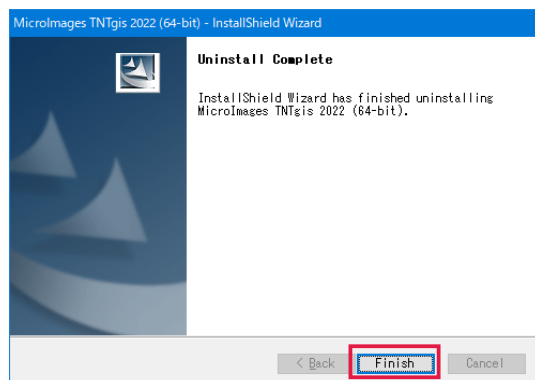
スタートメニューから「設定」を選択し、
「アプリ」を選択します。



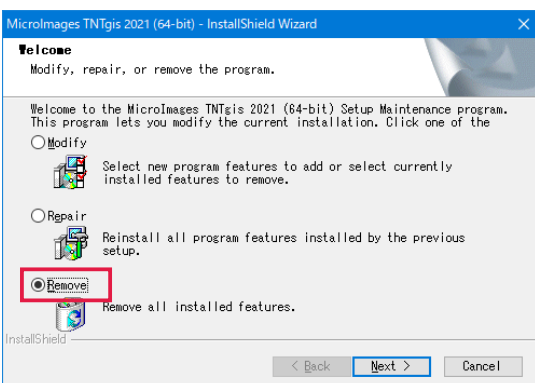
〈システム〉ウィンドウの「アプリと機能」を選択します。
アンインストールする TNT 製品を選択し、「アンインストール」
ボタンをクリックします。



「アンインストールしてもよいか」という確認のメッセージ
が現れます。「はい」ボタンを押すと、アンインストール
が始まります。



アンインストールが終わると、“Uninstall Complete” というメッセージが現れます。メッセージを確認したら [Finish] ボタンを押してこのウィンドウを閉じます。



❗ Windows の [アプリと機能] からのアンインストールが成功しない場合は、TNTgis の DVD やダウンロードファイルからのインストールを実行してください。メニューから Remove を選択して先に進んでください。

7-3. 設定ファイルの削除

設定ファイルを含め完全にアンインストールする場合は、C ドライブ内の様々な場所にある設定ファイルやログファイルを削除します。

Windows 10/8/7/Vista の場合

C:\¥Users¥ ユーザ名 ¥Documents¥MicroImages

C:\¥ProgramData ¥MicroImages

※1

C:\¥Users¥ ユーザ名 ¥AppData¥Local ¥MicroImages

※1

C:\¥Program Files¥MicroImages

※2 ※3

※ 1 デフォルトでは隠しフォルダになっています。

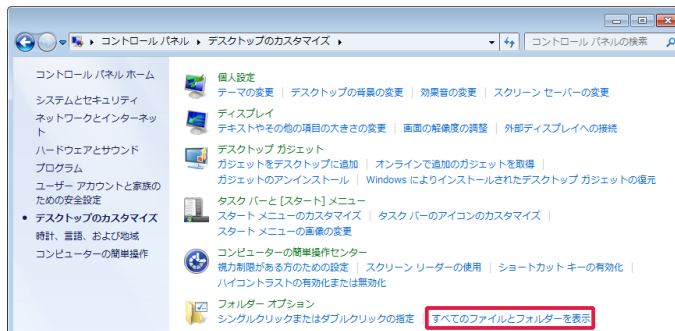
※ 2 通常は削除されているかと思いますが、残っているようでしたら削除してください。

※ 3 32bit 版 Windows では C:\¥Program Files (x86) となります。

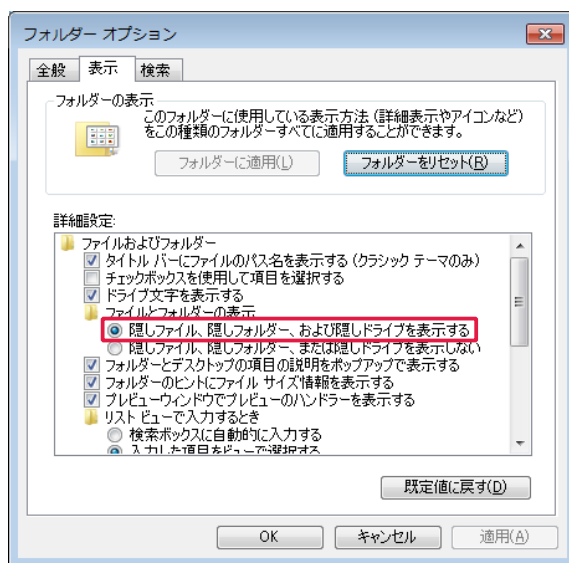
正確なパスとファイル名は〈メインメニュー〉から [ヘルプ] > [この TNTmips について ...] より表示される〈プロダクト情報〉で確認して下さい (p.15)。

● 隠しファイルとフォルダの表示方法

Windows 8/ 7の場合



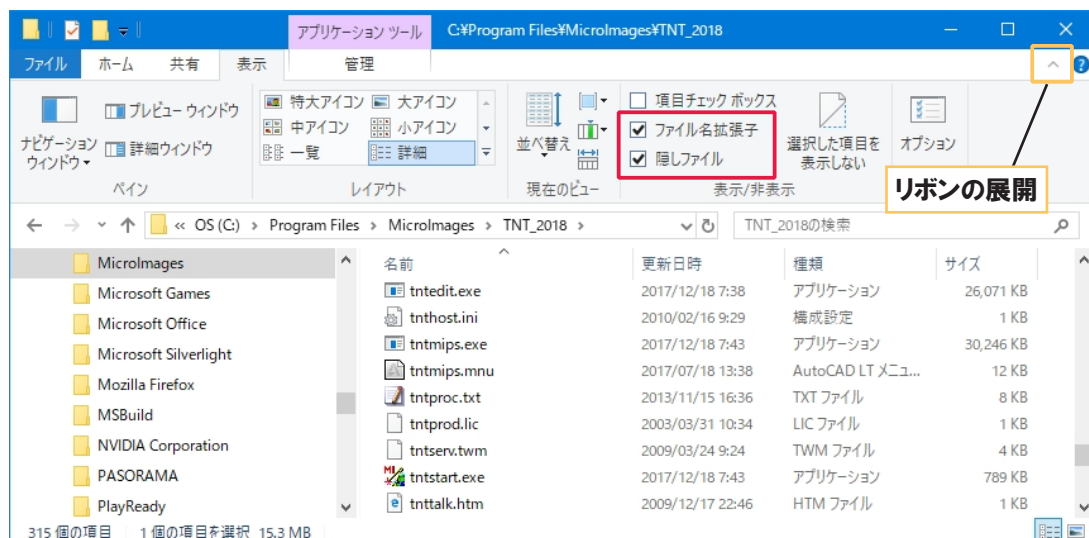
スタートメニューから、[コントロールパネル]
> [デスクトップのカスタマイズ]を選択します。
フォルダオプション欄の[すべてのファイルと
フォルダを表示]を選択します。



〈フォルダオプション〉ウィンドウの、[表示]タブにある
詳細設定欄に“ファイルとフォルダの表示”という項目
があります。この項目の[隠しファイル、隠しフォルダ、
および隠しドライブを表示する]をチェックします。

Windows 10の場合

エクスプローラーのリボンを展開し、[表示]タブパネルで「ファイル名拡張子」と「隠しファイル」にチェック
をします。



FAQ よくある質問

TNTgis の最新情報！

マイクロイメージ社は、アップデート（新しいバージョンがリリースされた後に発見されたバグやエラーの修正プログラム）を米国時間で毎週水曜日に更新します。日本では木曜日にダウンロード可能になります。

インストールができない
で終了してしまう

TNTgis が既にインストールされている場合、新たにインストールすることができないことがあります。その時は先にアンインストールをしてください。

過去の TNTmips を
ダウンロードしたい！

マイクロイメージのサイトでの公開が終了してしまった過去の TNTmips を弊社サイトにて公開しています。

過去の TNTmips : <https://www.opengis.co.jp/htm/priormips.htm>

Windows 7 で v2009 以前
の TNTmips を使いたい！

条件はありますが、お使いいただけます。詳しくは弊社サイトで解説いたしておりますので、そちらをご覧ください。

「Windows7 で TNTmips を使う」

<https://www.opengis.co.jp/htm/basic/xpmode.htm>

表示ウィンドウが
出てこない！

無事にインストールができて、表示ウィンドウが表示されない事があるようです。そのような時は、Windows MediaPlayer 9 がインストールされているか確認してください。もしもインストールされていなければ、Windows MediaPlayer 9 をインストールしてください。

HASP Net キーの
対応バージョン

HASP Net キーは TNTmips 2010 以降のバージョンに対応しています。

Pro/Basic/Free の
切り替えは

ライセンスキーを差し替え、スタートメニューから、[すべてのプログラム (すべてのアプリ)] > [MicroImages] > [TNTgis 2022] > [License Configuration 2022] を起動してライセンス設定を変更してから TNTmips を起動してください。

変更した設定を
初期状態に戻すには

TNTmips の操作に於いて設定変更したパラメタ値を初期状態に戻したい場合は、メインメニューの [ツール] > [システム] > [詳細設定] の画面の「全てリセット」ボタンを使用します。特定の操作でエラーになったりする場合にお試してください。

最新情報は
www.●pengis.co.jp
にて
随時提供しております

株式会社オープン GIS
〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋 1-19-14



TEL (03)3623-2851
FAX (03)3623-3025
URL <https://www.opengis.co.jp/>
E-mail info@opengis.co.jp